佐藤イーグルで決着

江口1打差でアマ頂点

決勝ラウンド

２０１６千葉オープンゴルフトーナメントは５日、太平洋クラブ成田コースで決勝ラウンドが行われ、プロの部は佐藤えいち（モスバーガー）がプレーオフの末に初優勝した。アマの部は高校1年生の江口勇也（八千代市）が4アンダーで制した。今回から新設され、50歳以上を対象にしたシニアの部はプロが2アンダーの崎山武志（アビバホールディングス）、アマは3オーバーで白井敏夫（船橋市）、松本武夫（東京都）が勝った。

65で佐藤、井上信（袖ケ浦C・C）、河野晃一郎（エコー電子㈱）の3人が並び、プレーオフ1ホール目で佐藤はイーグルで勝負を決めた。1打差の4位タイに宮瀬博文（アイ・エー・エス・エス）、増田伸洋（㈱ドーム）、宮本勝昌（ハートンホテル）。前回覇者の宇佐美祐樹（東京ベイ浜浜ホテル）は1オーバーの57位タイだった。

今大会は4日の予選ラウンドが降雨によるコースコンディション不良で中止となり、決勝ラウンドの18ホールストロークプレーで１６４人が争った。

主催　千葉日報社
千葉県、成田市、千葉県アマチュアゴルフ協会、千葉県ゴルフ協会、千葉県ゴルフ場支配人会、千葉県プロゴルフ会、山田ゴルフ倶楽部、千葉テレビ放送、ベイエフエム、成田市観光協会、成田商工会議所

プレーオフの18番で、優勝を決めるイーグルパットを沈めてガッツポーズする佐藤えいち＝太平洋クラブ成田コース

最終成績
【総合順位】

−６	①佐藤	えいち	65	（32・33）
	②井上	信	65	（32・33）
	河野	晃一郎	65	（34・31）
−５	④宮瀬	博文	66	（32・34）
	増田	伸洋	66	（33・33）
	宮本	勝昌	66	（33・33）
−４	⑦山下	和宏	67	（34・33）
	幡地	隆寛	67	（34・33）
	太田	仁	67	（33・34）
	木下	裕太	67	（33・34）
	※江口	勇也	67	（34・33）
−３	⑫小山内	護	68	（33・35）
	北川	祐生	68	（36・32）
	大田和	桂介	68	（35・33）
	福原	翔太	68	（36・32）
	※門田	実	68	（35・33）
−２	⑰太田	直己	69	（35・34）
	綿貫	直基	69	（36・33）
	市原	弘大	69	（32・37）
	小林	正則	69	（33・36）
	島野	隆史	69	（34・35）
	深堀	圭一郎	69	（33・36）
	冨山	聡	69	（33・36）
	佐藤	達也	69	（33・36）
	遠藤	彰	69	（34・35）
	額賀	辰徳	69	（33・36）
	Ｓ崎山	武志	69	（34・35）
	青木	龍一	69	（34・35）
	※伊藤	泰良	69	（36・33）
	※西村真太郎		69	（31・38）

優勝はプレーオフにより決定
※印アマチュア選手
Ｓ印はシニアプロ選手

【シニアプロの部】

−２	①崎山	武志	69	（34・35）
−１	②加瀬	秀樹	70	（34・36）
0	③横山	明仁	71	（37・34）
＋１	④西沢	章夫	72	（37・35）
	加藤	仁	72	（36・36）
＋２	⑥高見	和宏	73	（38・35）
	小室	英明	73	（34・39）
	高橋	正博	73	（36・37）

【シニアアマの部】

＋３	①白井	敏夫	74	（37・37）
	松本	武夫	74	（37・37）
＋４	③石毛	昌則	75	（39・36）
	岡野	智弘	75	（37・38）
＋６	⑤原田	晃	77	（37・40）
＋７	⑥広瀬	照康	78	（40・38）
＋８	⑦松下	健	79	（38・41）
	小川	貴央	79	（38・41）

ヒロイン　初の夢舞台、涙止まらず　池江

派遣標準記録突破を告げるアナウンスを聞くと、涙が止まらなかった。場内インタビューで感想を聞かれても、しばらく言葉にならない。初の五輪切符を手に入れた15歳の池江は冷静さを取り戻すと「死ぬほどうれしい」と満面の笑みで口にした。

女子２００㍍自由形の準決勝を泳いだ約50分後に迎えた１００㍍バタフライ決勝。体力的に厳しい状況の中、果敢に攻めた。前日の準決勝で出した日本記録より0秒17速いペースで前半を折り返すと、会場がどよめいた。2日連続の日本新はならなかったが、最後も粘り、派遣標準記録を0秒06クリア。「前半（積極的に）いったのが良かった」と勝因を挙げた。

２種目とも五輪切符を狙うか、一つに絞るかで悩み、大会直前に決断した。心配する母美由紀さんにはこう伝えた。「自信、あるから」。２００㍍自由形でもきっちりと決勝へ進み、狙い通りの結果を残した。

保育園児の頃に腹筋運動が５００回続けてできたという、類いまれな身体能力を持つホープ。大一番で、さらにスケールアップした姿を見せた。初の夢舞台へ「五輪では決勝に残れるぐらい上位を目指して頑張りたい」と気持ちを高ぶらせた。

女子100㍍バタフライで優勝し、感極まる池江璃花子。手前は星奈津美＝東京辰巳国際水泳場

池江100バタ制し初代表

北島2位、五輪持ち越し

競泳日本選手権

競泳のリオデジャネイロ五輪代表選考会を兼ねた日本選手権第2日は5日、東京辰巳国際水泳場で行われ、男子１００㍍平泳ぎ決勝で北島康介（日本コカ・コーラ）は59秒93の2位に終わり、５大会連続の五輪代表は２００㍍平泳ぎに持ち越した。59秒66で優勝した小関也朱篤（ミキハウス）も日本水連の派遣標準記録を切れなかった。

女子１００㍍バタフライ決勝は、４日の準決勝で57秒55の日本新記録を出した15歳の池江璃花子（ルネサンス亀戸）が57秒71で制し、初の代表入り。池江は２００㍍自由形でも6日の決勝に進んだ。

男子２００㍍自由形準決勝は萩野公介（東洋大）が1位、松田丈志（セガサミー）が2位で決勝進出。女子１００㍍平泳ぎ準決勝は渡部香生子（JSS立石）がトップ、鈴木聡美（ミキハウス）が2位で、男子１００㍍背泳ぎ準決勝は入江陵介（イトマン東進）が1位で突破した。

萩野は余裕たっぷり

○…男子２００㍍自由形の萩野は準決勝でただ一人、1分46秒台をマークし、悠々と決勝に進んだ。力みのないストロークで地力の差を見せつけ「まあこんなもの。リラックスして泳げた」と余裕たっぷりだった。

国内では群を抜く力を持つ種目で、決勝では2年前に出した1分45秒23の日本記録更新を目指す。五輪代表を決めた4日の４００㍍個人メドレー決勝で終盤に失速した反省を踏まえ「ラスト50㍍をがっちり泳ぐ自分らしいレースをしたい」と気合を入れた。

競泳の日本選手権男子100㍍平泳ぎで２位となったものの、派遣標準記録を突破できずうつむいて引き揚げる北島康介

焦点　会場の誰もが固唾（かたず）をのんで見守った男子１００㍍平泳ぎ決勝。北島は後半、伸びなかった。平井コーチが「美しさとパワーが融合した」と評する泳ぎに仕上げてきたが、５大会連続の五輪切符は２００㍍に持ち越しとなった。

ここ2年、国際大会の代表から外れて衰えものぞいたが、五輪イヤーは生まれ変わったかのように進化した。原動力は独特の筋力トレーニング。「年を取ったからっていうのは後付け。やり方次第で変わる」と話すように、自ら考え抜いたメニューで肉体を鍛えた。

最大の武器だった抵抗の少ない水中姿勢にパワーを加え、推進力につなげた。33歳にして成長を止めない教え子に、平井コーチは「やり残したことはないと思っていたが、一つのやり方が完結しただけだった。集大成という言葉は使わないことにした」とうなる。

準決勝では3年ぶりに1分を切るタイムを出し、近年にないほど仕上がっていることは確か。今年は本腰を入れて取り組んできた7日からの２００㍍で巻き返しを図る。

北島、後半伸びず

浦和―広州恒大　後半、シュートを放つ浦和・武藤＝埼玉スタジアム

浦和、昨年覇者破る

サッカーACL

【ブリラム（タイ）共同】サッカーのアジア・チャンピオンズリーグは5日、各地で1次リーグ第4戦が行われ、H組の浦和は埼玉スタジアムで昨年覇者の広州恒大（中国）を1―0で破って勝ち点を7とし、同組2位に浮上した。F組の広島はアウェーでブリラム（タイ）を2―0で下して通算2勝2敗とした。

浦和は後半の立ち上がりに武藤が奪った1点を守った。H組首位のシドニーFC（オーストラリア）は浦項（韓国）を1―0で下して勝ち点9。

F組はFCソウル（韓国）が山東（中国）と0―0で引き分け、勝ち点10で首位を堅持した。

31人が予選突破

県アマゴルフ予選第1会場

第40回記念大会県アマチュアゴルフ選手権（県、アマチュアゴルフ協会主催、千葉日報社など後援）の予選第1会場が5日、市原市新巻のキングフィールズゴルフクラブ（６８２０㍎・パー72）で行われ、出場70選手のうち31人が予選を突破した。

予選トップ通過は70の鈴木晃祐（県ジュニア）で、4打差で森本啓（市川市）が続いた。予選通過ラインは84。

決勝は6月13・14日、千葉市花見川区の鷹之台カンツリー倶楽部で行われる。

【予選通過者成績】
70鈴木晃祐▽74森本啓▽78樋口新、永野雄亮▽79大久保学、石原裕士▽80小坂圭司、四宮安彦、梅津慶士▽81若梅広樹、飯岡敦利、齋藤勝則、森孝浩、横田耕太郎、金城章、藤本賢祐▽82三浦徹光、谷幸治、大原俊弘、木村勝巳▽83中上浩三、佐々木智章、嶋田尚治、永野和也▽84清水亮康、父安和彦、大崎修、石山博明、寺西悦一、高口正章、深山雅由

決勝ラウンド、10番でティーショットを放つ江口

グリーンサイド

プロに対抗、7バーディー　江口

ベストアマに輝いたのはこの春、高校生になったばかりの江口勇也だった。全体でも4アンダー、7位タイの堂々たる成績。上位者が記されるリーダーズボードに名前を残してみせた。

「パターが入ってくれた」。前日の降雨でコースコンディションが悪い中、積み上げたバーディーは七つ。「球筋をしっかり描いたり、ラインをイメージして球の強さを考えて打つことを一番心掛けた」と胸を張った。

プロと一緒にコースを回れるのが今大会。この日は小山内護と同じ組で「小山内さんに勝てれば、いいところまでいける考えがあった」と明かす。7バーディー中、後半に五つマークし「途中で離されてしまい、気持ちを引き締めて集中してやることができた」。結果的に1打上回ると、狙い通りに好結果が待っていた。

6日に千葉日大第一高の入学式を控えてのラウンドだった。183㌢の大柄な有望株は「高校の初戦で、幸先のいいスタートができてよかった。高校の間にプロツアーに出て、いい成績を残したい」と目標を掲げた。

春の千葉で弾み　佐藤

大接戦の末6アンダーで3人が並び、プレーオフへもつれ込んだ決勝ラウンド。緊張感が漂うグリーンの上で、最後に笑ったのは佐藤えいちだった。「歴史のある大会でまさか勝てるとは」と初優勝の喜びを口にする。

プレーオフは18番のロングホール。身長１７０㌢、体重80㌔の体格を生かし、過去には３００㍎以上も記録した“飛ばし屋”の本領を発揮した。

ドライバーで一気に差をつけると、2オンに成功。グリーンでは「本戦で球足が速くなることは知っていた」と冷静さも光る。優しい流れをつくった。プレーオフでは他選手も2オンや、バンカーからの第3打がピンに直撃するなど意地をぶつけ合った。が、44歳に動揺はない。「久々の優勝。気持ちよかった」

次大会の練習へ向かうため夕方に移動予定だったが、「航空券をキャンセルしてよかった」と笑う。今季は海外でのツアーも控え「歴代の優勝者に負けないよう頑張っていきたい」。春の千葉で最高の弾みをつけた。

“飛ばし屋”集中途切れず　佐藤

まずき、「集中力が生まれた」と振り返る。3連続バーディーで持ち直し好調の流れをつくった。プレーオフではバンカーからの第3打がピンに吸い込まれイーグル。右拳を頂点に突き上げた。

最初の10番でボギーとつまずき、「集中力が生まれ変わったかのように進化した。原動力は独特の筋力トレーニング。「年を取ったからっていうのは後付け。やり方次第で変わる」と話すように、自ら考え抜いたメニューで肉体を鍛えた。

最大の武器だった抵抗の少ない水中姿勢にパワーを加え、推進力につなげた。33歳にして成長を止めない

第14回出題

免状への最短コース

◇将棋　【正解】ウ▲６六角引　１００点
▲６六角引がこの際の好手です。△７三飛に▲７九金が狙いの一手で、以下△８八龍▲同角と進んだ局面は▲８一飛や▲４四桂が厳しい狙いとして残っているため先手有利です。

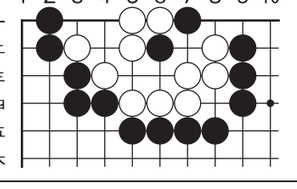
ア▲７九金は△同龍▲同角△８四桂と進み、△６九角と△７三飛の両狙いが残ってしまいます。

イ▲６二成銀は△８四桂▲７一成銀に△７六桂が絶好の一手で先手不利です。

【図は▲６六角引まで】

◇囲碁　（正解＝10点）
【黒番】白も粘りのある形をしています。ダメヅマリを利用してください。
最初の一手だけ答えてください。

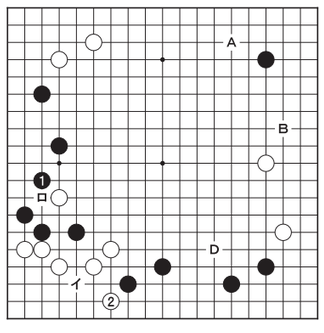
【解答例】黒７の四



【図は△３二銀まで】

◇将棋　（正解＝１００点）
【先手番】逆転を許さない一手は。
（ア）▲２一金
（イ）▲２四歩
（ウ）▲７六角

◇囲碁　【正解】C（黒１）　10点
黒１のワタリが急場です。次に黒イを防いで白２なら、黒Bのツメに回ります。黒Bは白Dのナラビで分断されて、左辺での攻守が逆転してしまいます。黒Aも大場ですが、やはり白ロに回られます。黒Dのケイマはつまらない所です。
B８点、A６点、D４点



応募要領

往復はがきで往信、返信とも第14回出題・解答・住所・氏名を記入▼解答は一人一通▼4月11日消印有効▼あて先・問い合わせ〈将棋〉〒151―8516東京都渋谷区千駄ヶ谷2ノ39ノ9日本将棋連盟千葉日報認定係☎03(3408)6168〈囲碁〉〒102―8668東京都千代田区五番町7ノ2日本棋院千葉日報認定係☎03(3288)8726▼将棋（連続12回のうちから任意で10回）囲碁（連続20回のうちから任意で10回）ともに別表の点数に達したら、採点済みはがきと返信用（将棋は92円分、囲碁は82円分の切手を貼り）を同封の上、お先手（△）をお送り下さい。

免状料金表（税込み）
囲碁…連続20回　将棋…連続12回　➡のうちから任意で10回

段位	点数 囲碁	点数 将棋	料金 囲碁	料金 将棋
六段	100点	1000点	21万6000円	27万円
五段	90点	900点	10万8000円	
四段	80点	800点	6万4800円	7万5600円
三段	70点	700点	5万4000円	
二段	60点	600点	4万3200円	
初段	50点	500点	3万2400円	

※囲碁の飛付昇段は二～五段が5400円、六段が1万800円。
将棋の五段、六段の飛付昇段は２～４割増

きょうのJリーグ

◇ヤマザキナビスコ・カップ1次リーグ第3節
湘南―大宮（19時・ＢＭＷ）
磐田―甲府（19時・ヤマハ）
名古屋―鹿島（19時・パロ瑞穂）
新潟―川崎（19時・デンカS）
鳥栖―仙台（19時・ベアスタ）
横浜Ｍ―柏（19時30分・ニッパツ）

きょうのスポーツ

◇野球　東都大学リーグ　東洋大―専大、国学院大―亜大（11時・神宮）▽社会人静岡大会第2日（9時・浜松ほか）◇水泳　日本選手権第3日（10時・東京辰巳国際水泳場）◇サッカー　アジア・チャンピオンズリーグ1次リーグG組　G大阪―上海上港（中国）（19時・市立吹田スタジアム）◇ラグビー　全国高校選抜大会第6日（11時・熊谷ラグビー場）◇テニス　かしわ国際オープン第3日（10時・千葉県吉田記念研修センター）▽MUFGジュニアトーナメント第1日（10時・名古屋市東山公園TCほか）

NHL

（4日・共同）
レンジャーズ　4―2　アルーシャッツ
アイランダーズ　5―2　ライトニング
パンサーズ　4―3　メープルリーフス
ブルース　5―2　コヨーテス
カナックス　3―2　キングズ